

しんじゅくニュース

新宿ニュース

だい 第9号 ころう

ねん 2007年 がつ 6月 25日 発行
 はつこう 発行 新宿区地域文化国際課
 電話: 03-5273-4069

FAX: 03-3209-1500
 〒160-8472 東京都新宿区歌舞伎町1-4-1



外国語版ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/foreign/japanese/>
 各担当部署に問い合わせる場合は、日本語でお問い合わせください

家族で遊べる水辺と緑のスポット

日本の夏は蒸し暑く、水辺や木陰が恋しくなります。超高層ビル群や繁華街というイメージが強い新宿にも水やみどりを楽しめるスポットが数多くあります。お弁当を持って、家族で出かけてみませんか？



1 せせらぎの里 (上落合1-1)

小さな子どもでも安全に水遊びができるせせらぎが流れています。広い芝生では敷物を広げてお弁当が食べられます。アスレチックやすべり台などもあります。

開園時間 午前9時～午後6時(11月から3月までは午後5時まで)、月曜日休園(祝日のときは火曜日休園)
 交通 西武新宿線「下落合」駅から徒歩3分

2 おとめ山公園 (下落合2-10)

小川が流れ、みどり溢れる公園は、都会の喧騒を忘れさせてくれます。木陰を抜ける涼風を受けながら、ベンチでくつろぐ人の姿。園内ではホルタルの飼育も行われています。

開園時間 午前7時～午後7時(10月～3月は午後5時まで)
 交通 JR・東京メトロ東西線・西武新宿線「高田馬場」駅から徒歩7分



3 戸山公園 箱根山地区 (戸山2・3)

みどり豊かな広い公園には、水遊びのできるジャブジャブ池をはじめ、せせらぎ広場、アスレチックなどがあり、のびのび遊べます。

区内で一番標高の高い箱根山(44.6m)もあります。

期間 (ジャブジャブ池) = 7月下旬(予定)～8月31日(金)まで 午前11時～午後3時(雨天中止)
 交通 東京メトロ東西線「早稲田」駅から徒歩15分



4 新宿中央公園 (西新宿2-11)

都庁や高層ビルを背景にした都会のオアシスです。ジョギングコースを始め、バスケットコート、ちびっ子広場など家族連れで楽しむことができます。子どもが安心して遊べるジャブジャブ池もあります。

期間 (ジャブジャブ池) = 7月10日(火)～9月7日(金) 午前11時～午後4時(雨天中止)
 交通 JR「新宿」駅から徒歩10分、都営地下鉄大江戸線「都庁前」駅から徒歩5分



5 みなみもと町公園 (南元町20)

きれいな水が流れるジャブジャブ池があります。池には定刻になると霧状の水が出る石柱があります。

期間 (ジャブジャブ池) = 4月下旬～10月下旬まで 午前10時～午後4時
 交通 JR・東京メトロ丸の内線・南北線「四ツ谷」駅から徒歩7分、JR「信濃町」駅から徒歩5分



次号の発行予定は2007年9月です。区役所、しんじゅく多文化共生プラザ、出張所、図書館など各公共施設で配布しています。

外国人の子どものための学習支援が始まりました

来日する外国人の子どもは、日本語能力が十分でないため、学校の授業に遅れることがあります。

このため区では「NPO法人みんなのおうち」との協働により、子どもたちへの学習支援を始めました。子どもたちが勉強の遅れを取り戻し、学校生活を楽しくめるよう応援します。

事業1 学習支援

おおくほ じどうかん えのきちよう じどう にほんご すう
大久保児童館と榎町児童センターで、日本語をはじめ、数
がく えいご べんきぎょう
学、英語などを勉強します。

事業2 交流会

かこく りようり ぶんか しょうかい こく
各国の料理や文化の紹介など国
さいこうりゆう
際交流をします。

事業3 自然体験ツアー

なつ ふゆ にいがた
夏と冬に新潟へバスツアーに出
かけます。

たいあひ NPO法人みんなのおうち 小林

TEL・FAX 03-3204-0916

たう ぶんか こくさいか
担当 文化国際課 03-5273-4069



2008年4月に区立小・中学校に入学を希望する人へ

にほん しょうがっこう ねんかん ちゅうがっこう ねんかん けい ねんかん ねんれい
日本では小学校6年間、中学校3年間の計9年間、年齢
まん さい さい ぎ む きょういふ
では満6歳から15歳が義務教育とされています。外国人
にほん しょう ちゅうがっこう しょうがく ぎ ぼう
は日本の小・中学校への就学義務はありませんが、希望する
ば あい しんせい にゅうがく みと げんざいやく にん
場合は申請により入学が認められており、現在約300人が
べんきぎょう
勉強しています。

ただし、日本の小学校を卒業していないと、日本の中学校
に入学ができないので注意してください。希望する場合は、
つぎ てつづ
次の手続きをしてください。

なお、小・中学校へ入学する新1年生を対象に学校選択
せいど
制度があり、通学区域外の選択可能校を希望することができ
ます。通学区域外の選択可能校を希望される方は、学校選択
ひょう しんせいじ わた
票を申請時に渡します。

小学校入学対象者

2001年4月2日～2002年4月1日に生まれた方

中学校入学対象者

1995年4月2日～1996年4月1日に生まれた方

申請期間 (学校選択票提出期間)

小学校への入学は9月3日(月)～28日(金)

中学校への入学は10月1日(月)～31日(水)

申請方法

あらかじめ学校運営課から送付する「お知らせ」と
本人の外国人登録証明書を持って教育委員会学校
運営課へ。日本語を話せない方は、日本語を話せる
方と一緒に来てください。

申込み・問合せ

学校運営課 03-5273-3089

お子さんの医療費助成の年齢が拡大されます

新宿区では、子どもの医療費助成の年齢を、現在の乳幼
児(6歳に達した日以降の3月31日まで)から中学生(15
歳に達した日以降の3月31日まで)まで拡大します。該
当する方には、申請書を送付していますので、必ず手続きを
してください。

対象 区内に住む小中学生

医療費の助成を開始する日

10月1日受診分から

医療証の発行時期

9月下旬

申請方法 郵送または区役所2階子ども家庭課育成係、各特別

出張所の窓口で申請をしてください。

問合せ・郵送先

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

子ども家庭課育成係(本庁舎2階)

03-5273-4546



路上喫煙・ポイ捨てをしないで

「路上喫煙」は、受動喫
煙やたばこの火によるやけ
どなどをもたらす、とても
危険な行為です。道路で火
のついたタバコを持ち歩い
たり、ポイ捨てをしないよ
うにしましょう。

マナーを守って分煙化を進め、
誰もが安心して歩けるまちをめざ
しましょう!

タバコは決められた場所で

喫煙は施設の喫煙スペースなどのほか、以下の喫煙スポッ
ト(7カ所)でお願いします。

せいぶ しんじゅくえきまえ しんじゅくえきにしぐちえきまえ たかだのば えきまえひろば
西武新宿駅前、新宿駅西口駅前、高田馬場駅前広場
しんじゅくえきむぐちえきまえひろば しんじゅくえきとうなんぐちえきまえひろば
新宿駅東口駅前広場、新宿駅東南口駅前広場
しんおおくほ えきむがしがわちゅうりんじょうまえ しな の まちえきみなみかわちゅうりんじょうまえ
新大久保駅東側駐輪場前、信濃町駅南側駐輪場前

問合せ 環境保全課 03-5273-3763



▲喫煙スポット



サンバを踊ろっ！薬王寺・柳町七夕まつり



な笹に願い事が書かれた短冊が飾られます。そこを恒例

今年で29回目
を迎える地域恒例
の七夕まつりが開
催されます。

全長430mの
通りには、七夕に
は欠かせない大き

のサンバパレードが練り歩き、本場さながらの踊りを披露。歩道には金魚すくい、やきそば、ヨーヨーなどたくさんさんの屋台が並びます。地域のまつりに家族で出かけてみませんか？

日時 7月8日(日) 午後1時～5時
会場 外苑東通り(柳町交差点～仲之町交差点)
問合せ 薬王寺・柳町七夕実行委員会

03-3353-1461



ウソポイント! 天の川に隔てられた彦星と織姫とが7月7日の夜、年に一度だけ会うという伝説にも関わらず、ちなむ年中行事。願い事を書いた色とりどりの短冊(細長い紙)を笹に吊るしてお祈りします。

夏の風物詩 ほおずき市

7月25日(水) 26日(木) 午後6時～10時



などが開かれます。浴衣の着付けサービスや神楽坂まち歩きの案内サービスもあります。浴衣姿で情緒ある神楽坂のまちを歩いてみましょう。

毘沙門天善国寺を
中心に「ほおずき
市」が開かれます。
朱色の実も鮮やかな
ほおずきの鉢の販売
や納涼ビアガーデン



熱気に包まれる 阿波踊り

7月27日(金) 28日(土) 午後7時～9時



まつりのク
ライマックス
は今年で36
回目を迎える
阿波踊り。阿
波踊りは徳島
県発祥の踊り

で今や日本各地で広く披露されています。三味線や笛、太鼓の軽快な演奏に合わせて約15の連(数十人のグループ)が坂を踊り歩きます。神楽坂の熱気にふれてみませんか？

問合せ 筆筈町特別出張所 03-3260-1911
<http://www.syoutengai-web.net/kagura/maturi14.htm>

今年も新宿東口に
沖縄がやってくる

新宿エイサーまつり

沖縄の伝統芸能であるエイサーまつり。本場沖縄を始め区内や近隣から500人を超えるエイサーチームが出演します。カラフルな着物を着た踊り手たちが祭り太鼓にあわせて踊る姿は大迫力です。

エイサーのエネルギーで夏バテを吹き飛ばそう!

詳しくは、<http://shinjuku-eisa.jp/> をご覧ください。

日時 7月28日(土)
午後1時30分～9時 予定(小雨決行)
※新宿通りは、午後1時30分～5時30分に行います。

会場 新宿通り、歌舞伎町シネシティ広場ほか
問合せ 新宿駅前商店街振興組合 03-3352-6713



とも い 共に生きる

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解しあい、共に生きていくことです。

ここでは、多文化共生の最前線をレポートします。

しんじゅく 多文化共生プラザ（以下「プラザ」）などで日本語を学ぶ韓国人のみなさんが、地域の人たちに韓国語をもちと知ってもらい、交流を深めようと「新宿ムクゲ会」を結成しました。

今回は、「新宿ムクゲ会」が活動の第一歩として、プラザで開いた韓国語講座の教室を訪ねてみました。

ぶんか 文化の相互発信をめざす 「新宿ムクゲ会」



日本語学習から生まれた絆

新宿区には約3万人の外国人が暮らしています。プラザや日本語教室では、さまざまな国の人たちが集まり、学んでいます。そうした外国人にボランティアで日本語を教えている片岡さんは、真面目で情熱的な一面をもつ韓国人の魅力に惹かれました。そこで「韓国人のもつ素晴らしさや文化を発信したらどうだろう」と教室で呼びかけたところ、メンバーが集まり「新宿ムクゲ会」が結成されました。ムクゲは韓国の国花で、「一度咲いたら長く咲き続ける花」という意味を持ち、韓国の象徴とされています。



▲講師を務めた「新宿ムクゲ会」の皆さん

文化を知るには、まず“ことば”から

「私たちは日本人のボランティアから日本語を学び、日本の文化を知ることができました。だから韓国を知ってもらうためには、今度は私たちが韓国語をボランティアで教えよう。」と、4月から6月まで8回にわたって韓国語講座を開催しました。土曜の昼、講座にはおよそ30人もの参加者が集まりました。



▲開講まで、何度も打ち合わせを重ねる

テキストやプログラムは全て手作り。メンバーのなかには教育に関係した人もいますが、ほとんどの人は教えることが未経験の主婦や留学生です。「留学生にとって土曜日の昼は、アルバイトをしたい時間ですが、生活は少し苦しくなっても、みなさんに韓国語の良さを知ってほしいので頑張ります。」と、主任講師を務めた朴さん。片岡さんも「テキストづくりで睡眠不足の日が続きました。」と、苦労を語ってくれました。

「ムクゲ会」メンバーの頑張りとも明るさで、講座には笑顔があふれ、盛況でした。

タイ人留学生も韓国語を勉強

根強い韓流ブームも影響しているのか、参加者の多くは日

本人女性。一方、日本人の男性は「韓国に旅行して、韓国語が話せたらなあと思ひ、この講座に参加しました。韓国語をまったく知らないのが不安でしたが、講座が終わった後も、質問に親切に答えてくれました。韓国の

人の優しさにもふれた思ひです。」と、韓国人の情の深さを早くも実感したようでした。



▲日本人とタイ人が揃って韓国語を勉強

参加者のなかにはタイ人留学生の姿も見られました。日本語学校に通う仲間5人で参加したそうですが「講師の一人が同じ学校で日本語を学ぶ仲間なので参加しました。日本語も韓国語もマスターしたい。でも今は、頭の中でタイ語と日本語、韓国語、英語が混ざっています。」と、来日して6ヶ月とは思えない流ちょうな日本語で答えてくれました。「次はタイ語講座を開催すれば？」と勧めると「出来ればいいですね。」と、相互発信の輪が広がる気配。

大切なのは相手を知ろうとする気持ち

新宿ムクゲ会の活動を見ていると、まさに多文化共生という言葉がピッタリします。「共生とは、お互いに文化が違うということを知り、相手の立場を理解しあうこと。それには相手のことを知ろうとする気持ちが大切です。新宿区には、しんじゅく多文化共生プラザという、様々な国の人が交流できる貴重な場所があります。日本語の勉強もでき、生活に役立つ情報も手に入ります。共に学び合う場として素晴らしいところ。次の活動はまだ決まっていますが、プラザを拠点に活動は続けていきたいです。」と、メンバーの皆さんは今後の活動にもやる気を見せてくれました。さあ、今度はあなたが自分の国の文化を発信してみませんか？

———新宿ムクゲ会の活動・講座に興味のある方は———

問合せ しんじゅく多文化共生プラザ

TEL 03-5291-5171 FAX 03-5291-5172

ご意見・感想、取り上げてほしいテーマ・情報がありましたら、FAX 03-3209-1500 でお寄せください。